

☆第63回愛媛県高等学校放送コンテスト  
最優秀賞（朗読部門）  
☆第71回NHK杯全国高校放送コンテスト 出場



八幡浜高等学校 2年

木村 美月<sup>みつき</sup>さん  
(長浜中出身)

八幡浜高校で放送部に所属する木村さんは、6月8日(土)と9日(日)に松山大学で行われた県高等学校放送コンテストで最優秀賞に輝き、7月22日(月)から4日間にわたって開催されたNHK杯全国高校放送コンテストに出場しました。

ひとえに放送コンテストといっても自作の原稿を読むアナウンス部門から、自分たちで脚本から制作する創作テレビドラマ部門までさまざまです。木村さんが出場した朗読部門は、課題図書の中から自分の表現したい部分を抜き出して読み上げるもので「その文章の解釈によって表現も変わってくる。登場人物の心情などを正しく理解することが大事」と課題図書を最初から最後まで何十回も読み込んだそうです。

一番苦労したのは、文中に3回出てくる同じセリフをどう使い分けるかという点。悩みすぎてスランプに陥ってしまったのですが、あえてしばらくセリフを口にしないことで気持ちをリフレッシュし、全国大会への切符をつかみ取りました。

部長でもある木村さんですが、部員が少ないことが現在の悩み。「放送部は自分次第でいろいろクリエイティブな活動ができる。ぜひ興味がある人は部室をのぞいてみて」とPR活動にも抜け目がありませんでした。

## HighSchool NOW

Vol.90 大洲高等学校肱川分校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

みなさんこんにちは！大洲高等学校肱川分校2年の清水<sup>つきと</sup>月翔です。

肱川分校では、1学期に生徒・保護者・教職員の交流を目的としたソフトバレーボール大会が行われます。今年も生徒A Bチーム、保護者チーム、教職員チームの4チーム総当たりで試合をしました。

僕たちは、体育の授業で練習してきた成果を出そうと、みんなが積極的にプレーすることができました。おかげで僕の所属した生徒Bチームが優勝することができ、とてもうれしかったです。

珍プレー・好プレーが出て、参加者全員が楽しめるバレーボール大会となりました。



一回は大洲農業高等学校からです。一

きらめき  
ニュース  
シリーズ  
お知らせ  
情報ひろば  
図書館  
未来を拓く  
健康ナビ  
相談・救急

## 大洲産ウイスキーの開発に向けて

愛媛県が全国一の生産量を誇る「はだか麦」を使ったクラフトウイスキー「ひめの琥珀こはく」が完成し、開発に関わった有限会社小谷酒店の小谷順一代表取締役（写真中央）が報告のため6月20日（木）に市役所を訪れました。

小谷代表取締役によると「37年間も日本一の座にある愛媛のはだか麦で何かできないかと考えウイスキーを思いついた」とのこと。今後は市内での蒸留所建設やさらなる開発に向け、クラウドファンディングで資金を募っていく予定です。



## 「日本水大賞」で国土交通大臣賞を受賞

水環境の健全化に寄与する個人や団体の活動を顕彰する「日本水大賞」において、市民団体「肱川流域会議 水中めがねよし」が国土交通大臣賞に選ばれ、坂本芳則のり会長をはじめ会員みなさんが6月21日（金）に市役所を訪問し、受賞を報告しました。住民・企業・行政が一体となって肱川流域の環境保全を図れるよう、さまざまな活動を長年にわたり行ってきたことが評価されての受賞となりました。



肱川流域会議 水中めがね 会員みなさん（中央：坂本会長）

## 地元企業の良さをPR

6月28日（金）、大洲・内子地域合同企業説明会がマリエール大洲で開催され、市内や近隣の高校生、大学生など120人以上が参加しました。この説明会は地元での就職を目指す若者の雇用拡大を図ろうと、大洲商工会議所が主催し、今年は41社がブースを並べ、事業のPRを行いました。参加した高校生は「今まで持っていた企業のイメージだけではなく、いろいろな面が見えてきて参考になる」と担当者の説明に真剣に聞き入っていました。



## 安全功労者内閣総理大臣表彰

安全に対する意識の普及徹底、交通安全や火災予防など安全の向上に対して功績のあった人物や団体を表彰する「安全功労者内閣総理大臣表彰」を長浜小学校（岩本康孝やすたか校長：写真左）が受賞し、7月1日（月）に総理大臣官邸で表彰式が行われました。長浜小学校は登下校時の交通安全指導や長期休業中の夜間パトロールなど学校・家庭・地域が一体となって学校安全に取り組んできたことが評価されました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

健康ナビ

相談・救急



## お肉ってどうやってできるの？

7月5日(金)、平小学校で株式会社多田ファームによる食育教室が開催され、2年生の児童29人とその保護者が参加しました。「命のありがたみ」をテーマに、家で食べている豚肉がどうやって食卓に届くのかなどをクイズを折り交ぜながらわかりやすく説明し、子供たちからは「命にたくさん感謝して食べたい」などの声が聞かれました。教室終了後には給食の時間に多田ファームから提供された豚しゃぶを試食し、子供たちは地元産の豚肉を美味しくそうに頬張っていました。



## 見た目は病院 中身はお店！

7月5日(金)、肱南地区で古民家モール「旧藤本医院」が営業を開始し、住民向け内覧会が実施されました。100年以上前に建てられた病院の診察室や病室など9部屋を、当時の趣を残して改修し、それぞれ店舗として活用する予定で、この日はその1店舗目がオープンしました。内覧会に参加した人は「自分がよく知っている物が活用されるのはうれしい」と笑顔で話していました。

※この記事は、市役所で7月1日(月)から5日間職場体験を行った大洲北中学校の2年生4人が取材し、作成した記事です。



## うかい・遊覧船体験教室

7月8日(月)、大洲の伝統文化に触れてもらおうと大洲市観光協会が小学生を対象に実施している「うかい・遊覧船体験教室」に菅田小学校4年生の22人が参加しました。まずはうかいレストプラザで大洲の鵜飼について学習。初めて鵜を間近で見る児童も多く、少し緊張気味でしたが鵜の寿命や一日に食べるエサの量について積極的に質問していました。その後は2隻の遊覧船に分かれて乗り込み、船からの景色を楽しみながら肱川を下って行きました。



## 交通安全ドリルを寄贈していただきました

子供たちに正しい交通安全の知識を身に付けてもらおうと、ETPホールディングス株式会社(松山市)から市内の小学生に向けた交通安全に関するドリルが寄贈され、7月11日(木)に市役所で贈呈式を行いました。今回寄贈されたのは子供に人気の「うんこドリル」シリーズの「うんこ交通安全ドリル」で歩行者編と自転車編の計2,748冊。横田知明代表取締役社長(写真左)は「このドリルは大人も楽しく学べる内容。ぜひ家庭で親子一緒に読んでほしい」と語りました。

## 高校生チャレンジプログラムがスタート

大洲市では合併20周年記念事業の一環として高校生起業家を育成する「大洲市高校生チャレンジプログラム」を開催しています。7月11日(木)には大洲高校で2年生を対象とした出前授業を実施しました。

この日、講師を務めたのはイベントプランナーとして起業した宮土良太さん(宇和島市在住)で、自身の学生時代や社会人としての経験を中心に講話を行いました。

話を聞いた2年生の増岡鈴土さんは「起業にはとても興味がある。好きな音楽のイベントなどを手掛けてみたい」と将来の夢を語ってくれました。



## 今年も全国大会出場を報告

7月12日(金)、大洲高校肱川分校バドミントン部の石原陽菜さん(3年)と武内創さん(2年)が市役所を訪れ、全国高等学校定時制通信制体育大会第26回バドミントン大会への出場を二宮市長と檜部教育長に報告しました。6月9日(日)に開催された愛媛県予選で石原さんは女子個人戦2位、武内さんは男子個人戦ベスト4の成績を収め、7月29日(月)から神奈川県で行われる全国大会への切符を手に入れました。石原さんは昨年に続き2回目の全国大会出場です。



意気込みをみせる武内さん(左)と石原さん(右)

## 農産物を無駄なく、おいしく、さわやかに！

フードロス削減しながらオリジナルの商品を作ろうと、仙味エキス株式会社が「大洲市青年農業者協議会(アグルビト)」と協力して開発を重ねてきたクラフトコーラが完成し、7月12日(金)、「大洲くらふとコーラぞぶる」として発売されました。材料として大洲の農産物のうち摘果品や規格外、傷物など市場に流通しないかんきつや無農薬栽培のショウガ、原木シイタケを活用しています。この日まちの駅あさもやで行われた試飲会では、関係者がクラフトコーラの炭酸割りを振る舞い、商品をPRしていました。



## 令和6年度 優良工事表彰式

令和5年度中に完成した市の発注工事において、特に優秀な工事を施工した事業者を表彰する「優良工事表彰式」を7月23日(火)に行い、二宮市長から受賞した事業者のみなさんへ表彰盾を贈呈しました。市では、他の模範となるような工事を表彰することで、事業者の技術向上と適正な施工の確保に努めています。

【令和6年度受賞者のみなさん】(写真左から)

向成建設株式会社、有限会社丸電工業、有限会社住吉産業



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

健康ナビ

相談・救急

## 【大葉入りつくね】



## 材料（4人分）

鶏ひき肉	400g
大葉	4枚
玉ネギ	100g
卵	1/2個
ショウガ(すりおろし)	A 小さじ1
塩コショウ	
サラダ油	適量
(タレ)	
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
みりん	大さじ1
砂糖	大さじ1弱

## 作り方

- ① 玉ネギ、大葉はみじん切りにする。
- ② ボウルに鶏ひき肉、①を加えてよく混ぜ合わせ、溶き卵とAを入れてさらに混ぜる。
- ③ 1人2個分の個数に分け、丸く成形する。
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、③を入れて中火で焼き色がつくまで焼き、裏も同じように焼く。
- ⑤ ふたをして弱火にし、中に火が通るまで焼く。
- ⑥ タレの材料を入れて、よく絡ませる。

## 大葉の栄養

ビタミンやミネラルが豊富ですが、βカロテンとカルシウムは野菜の中でも群を抜く含有量です。βカロテンは体内でビタミンAに変換され、老化を予防します。カルシウムは骨粗しょう症の予防に効果的です。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかずの第20回

## DXのすゝめ



一般的に、広告と聞いてイメージするのは、テレビCMや新聞折り込みが多いのではないのでしょうか。しかし実は、日本の広告市場のうち約45%がすでにインターネット広告となっており、広告の市場は着実にDXが進んでいます。

インターネット広告は、検索に連動して表示されたり、動画視聴の合間に表示されたりするもので、最大の特徴は、ユーザーに合わせて広告をカスタマイズできるという点にあります。例えば赤ちゃんのオムツの広告について、購買層である20代～40代で子供を持つ夫婦のみをターゲットングして広告を出すことができ、伝える内容も、男性親・女性親などユーザーの属性に合わせて変えることもできます。

こうした広告の進化の背景には、情報洪水時代においてユーザーが興味関心のある情報にしか触れなくなっているという環境変化があります。テレビCMなどで同じ広告を配信してもなかなか見られないので、一人一人に合わせた広告を配信していく時代になってきているのです。

今後、自治体が発信する情報なども、インターネットを活用し、市民の属性や興味関心に合わせて伝える内容を変えていく、という考え方が一層重要になるかもしれませんね。

## 文化財

大洲市指定有形文化財（書跡）  
中江藤樹筆 孝字并釈  
個人所有



この書は中江藤樹（1608～48）の直筆で、本紙の大きさは縦45.2cm、横56.5cmの紙本横幅の掛け軸です。

1文字のみ大きく書かれた「孝」字の左には7行にわたって孝の解釈が漢文で述べられており、そこには、常に戒めて、親は当然のことながら周りの人々に愛敬の誠を尽くすべきだ、と藤樹思想の根本である「孝」について、端的に述べられています。江戸時代中期の記録によれば、家老の加藤氏が所蔵していたものと書かれています。

江戸期から大洲に残されていた由来がわかる資料であること、また藤樹の遺墨の中でも、この孝の文字のような大書は少なく、かつ力強い筆跡で、書としての出来栄も良く、注目すべき作品といえます。（昭和41年11月3日指定）

# 肱川と ともに

Vol.3

今回は、肱川がはぐくみ、肱川と共に歩んできた大洲の秋の風物詩「元祖大洲のいもたき」についてお伝えします。



## 肱川の恵みと大洲のサトイモ

大洲地方は元来、肱川が運んでくる栄養豊富な土壌によってサトイモの栽培が盛んでした。大洲のサトイモは、やわらかくねっとりした食感、きめが細かく滑らかな口当たりが特徴で、食物繊維をはじめカリウムやビタミンB1が豊富に含まれています。また、他の芋類と比べても低カロリーであり、血圧を下げる効果やむくみなどの改善に効果があるとされており、健康にも良い野菜といわれています。それに加え水に強い性質を持っていて、肱川流域において度々発生する洪水により冠水しても成長し続けることなどが、大洲の伝統野菜となった一因であるといえます。

## 大洲のいもたきの起源と観光化

大洲のいもたきの起源は約300年前の藩政時代までさかのぼります。大洲地方では、春と秋の2回、住民の寄り合い行事「お籠り」が行われていました。秋のお籠りでは、肱川の河原に収穫したサトイモを持ち寄り、鮎からとった出汁で炊いた鍋を食べながらだんらんのひとときを過ごしていたようで、この風習がいもたきの起源といわれています。サトイモの収穫時期である8月下旬から10月下旬頃までは、薄暮から日没にかけて川上からの涼風が秋の河原を吹き抜けます。カジカガエルが鳴き、川魚が水面を跳びはねる風情ある空間の中で、人々が涼をとりながら時間を忘れて楽しんでいた光景が肱川沿いのあちらこちらに広がっていました。

この「いもたき」を多くの方々に楽しんでもらおうと、昭和41年に観光事業化し、今日まで「元祖大洲のいもたき」として継続されています。最盛期の昭和50～60年代には、料理を提供する「いもたき登録店」も26軒を数え、会場の如法寺河原には大型観光バスが何台も止まり、年間5万人を超える多くの人でにぎわいました。

「いもたき」はまさに、肱川の恵みがもたらした伝統文化と言えるでしょう。



## 今年はいもたきは？

8月30日(金)の初煮会から10月中旬まで、肱南ピクニックランドで行われます。肱川河原でのいもたきを体験したい人は、登録店までお問い合わせください。

### 【初煮会】

日時 8月30日(金)

18:30～ 市ホームページ

場所 肱南ピクニックランド

いもたき販売には大洲農高の生徒たちも参加！

### 【いもたき登録店】

▷うめたこ ☎0893(25)0826

▷たる井 ☎0893(24)4585

▷にし川 ☎0893(24)4046

▷よねざわ ☎0893(24)2639

▷むらや ☎0893(24)4637

▷大石フーズ ☎0893(25)5620

